

ボランティア活動報告書の記載方法について

30.9.12 総務

ボランティア活動報告書										区会用	
NPO法人社会還元センターグループ わ											
H	(1)	報告者 (2)			区会名 (区会活動の場合) (3)			コードNo.			
(4)所属地区名	1 1	東灘	1 2	灘	1 3	中央	1 4	兵庫	1 5	北	
	1 6	長田	1 7	須磨	1 8	垂水	1 9	西	2 0	本部	
活動日	延日数	延人数	対象人数	大	中	小	特技	場所	有償・無償		
(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	有・無				
H	活動対象者 (高齢者等)		活動内容・目的			活動対象施設名・場所等					
	(12)		(13)			(14)					
施設所在地区名： 区											
活動参加者氏名											
(15)											

確	(16)
認	

ボランティア活動報告書										部会用	
NPO法人社会還元センターグループ わ											
H	(1)	報告者 (2)			グループ名 (部会活動の場合) (3)			コードNo.			
(4)所属部会名	1	福祉	2	国際	3	環境	4	文化	5	いきがい	
	活動日		延日数	延人数	対象人数	大	中	小	特技	場所	有償・無償
(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	有・無				
H	活動対象者 (高齢者等)		活動内容・目的			活動対象施設名・場所等					
	(12)		(13)			(14)					
施設所在地区名： 区											
活動参加者氏名											
(15)											

確	(16)
認	

1. 活動報告書作成の目的

- (1) 活動報告書は、NPO 法人 グループわ 定款 第5条 (事業) に列記された (1) ~ (9) の事業項目に基づいて作成される。
- (2) 各部会・区会から提出された活動報告書は、本部でデータとして整理した上、上記事業項目ごとに集計し、総会議案書で「活動実績表」として公表され、神戸市に提出される。
- (3) さらに、広く全会員に、他区会、他グループの活動内容を知ってもらうために、各部会・各区会で作成された活動報告書の内容、実績を本部にてまとめ、毎月のホームページ上に公開する。

2. 活動報告書の記載内容 (添付の「ボランティア活動報告書」に記載の番号欄参照)

- (1) 報告日
- (2) 報告者
- (3) 区会用：区会名と地区のコード No.を記載
部会用：グループ名とグループのコード No.を記載
- (4) 所属地区名 ◆ 該当する区会、部会の No.を丸で囲む。
- (5) 活動日 活動日を記載。同じ内容で複数の活動日がある場合はすべて記載。
毎週月曜日実施等の記述は不可。
- (6) 延日数 活動日数の合計を記載
- (7) 延人数 = $\Sigma(\text{延日数} \times 1 \text{ 回分のボランティアをする人の参加者数})$
- (8) 対象人数 = ボランティアを受けている人の延人数 := $\Sigma(\text{延日数} \times 1 \text{ 回分の対象人数})$
- (9) 大・中・小
- (10) 特技
- (11) 場所
- (12) 活動対象者 ◆ 簡単かつ具体的に記載してください。(例：高齢者、小学生等)
- (13) 活動内容 ◆ 簡単かつ具体的に記載してください。
- (14) 活動対象施設名・場所、施設所在地区名 (~区) を具体的に記載してください。
- (15) 活動参加者氏名 ◆ 会員の参加者氏名を記載してください。(保険申請時、不可欠)
会員以外を記載する場合は人数だけでも OK。
- (16) 確認 ◆ 区会長、部会長の確認をお願いします。

活動報告書の提出手順：区会、部会の各グループで作成された報告書は必ず区会長、部会長・が確認の上、確認欄にサインの上一括して本部に提出願います。

3. 本部活動は以下のものです。

- ① こども家庭センター電話相談
- ② いじめホットライン
- ③ 本部直轄の学習支援
- ④ 須磨一ノ谷プラザ
- ⑤ 水の科学博物館
- ⑥ 本部企画のイベント

①～⑤については区会からの報告は不要です。

イベント支援で参加した場合、区会・部会からの報告は必要です。